

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201010400		事業の種類	4			
年度	30	事務事業名	介護マーク普及啓発事業		予算事業名	介護マーク普及啓発事業 優先度		3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部長寿福祉室			
施策名(中)		地域福祉活動を支援する			担当課長	三浦 貴史		担当者名	富田 智美
取組み事項		福祉に対する意識の高揚を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症等の介護者							
	誰(何)を対象として	認知症等の介護者と一般市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護環境の向上を図る							

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症等の介護において、介護中であることを周囲の者に理解しやすくするために、介護マーク名札を配付し、介護環境の向上を図る。平成27年度よりは配布より普及啓発を重点的に行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	介護マーク名札配付	枚	5	-	-	-	
	ポスター配布	枚	-	-	-	-	
	チラシ配布	枚	-	-	-	-	
	認サポ講座にて周知	回	19	19	34	30	

3 投入資源

		会計区分 介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.008	0.020	250	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	408,706	525,472	129	518,420	99	493,384	95	
	事業費	42,758	40,128	94	42,661	106		0	
	合計	451,464	565,600	125	561,081	99	493,384	88	
財源内訳	国庫支出金	16,676	15,649	94	16,424	105		0	
	県支出金	8,337	7,824	94	8,212	105		0	
	市債			-		-		-	
	その他	9,406	8,828	94	9,812	111		0	
	一般財源	417,045	533,299	128	526,633	99	493,384	94	
合計	451,464	565,600	125	561,081	99	493,384	88		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護マーク名札配布枚数(H27年度より統計なし)							
指標説明(式)		介護マーク名札配布枚数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
枚	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	
指標名2		介護マーク普及啓発							
指標説明(式)		認知症サポーター養成講座での介護マークの説明回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	25	20	80.0	20	100.0	30	150.0	
	実績	19	19	100.0	34	178.9			

【効率性】

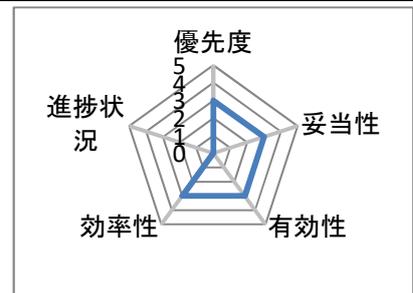
指標名1		人数あたりのコスト(H27年度より統計なし)							
指標説明(式)		事業費／配付者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		1回の講座にかかる費用							
指標説明(式)		事業費／認サポでの説明回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	500	2150	430.0	2150	100.0	0	0.0	
	実績	2250	2112	93.9	1254	59.4			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症等の介護において、介護中であることを介護マークにより周囲の者に理解しやすくするため、介護マークを配付し、認知症サポーター養成講座の中でも普及啓発できた。	3
効率性	手段の最適性	普及啓発の方法として、単独ではなく「認知症サポーター養成講座」等のまちかど出前講座とあわせて周知した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	介護マーク名札を配付することよりも、「介護マーク」の意味や存在理由を周知することが重要。今後も普及啓発に努める必要がある。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	配付数の増加ではなく、一般市民に対する介護マークの更なる普及啓発が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	介護マークの普及啓発について、単独ではなく「認知症サポーター養成講座」等のまちかど出前講座とあわせて周知していく。

配点	32.5
総合評価	16.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020100		事業の種類	5		
年度	30	事務事業名	戦没者遺族等団体活動補助事業		予算事業名	戦没者遺族等団体活動補助事業 優先度 3		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦		担当者名	松本 千華
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		兵庫県遺徳顕彰会会則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の戦没者の遺族及び原爆被爆者						
	誰(何)を対象として	市内の戦没者の遺族及び原爆被爆者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	永遠の平和と郷土の繁栄を祈念することと併せ遺族会の活動を支援する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		戦没者遺族等団体の活動を支援する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	遺族会会員	人	237	207	207	207
	原爆被爆者の会会員	人	0	0	0	0
	遺族会総会参加者	人	53	53	49	50
	原爆被爆者の会総会参加者	人	0	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.040	50	0.040	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	951,226	988,552	104	667,100	67	650,484	98	
	事業費	150,000	150,000	100	150,000	100	150,000	100	
	合計	1,101,226	1,138,552	103	817,100	72	800,484	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,101,226	1,138,552	103	817,100	72	800,484	98	
合計	1,101,226	1,138,552	103	817,100	72	800,484	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		主要行事参加者数							
指標説明(式)		相生市遺族会総会参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	60	53	88.3	49	92.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		主要行事参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		補助金÷遺族会総会参加者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,000	3,000	100.0	3,000	100.0	3,000	100.0	
	実績	2,500	2,830	113.2	3,061	108.2			

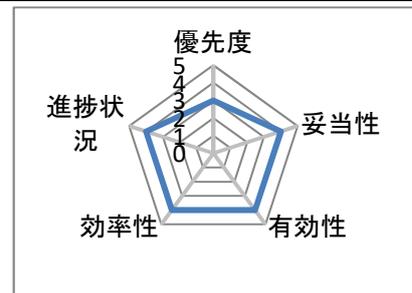
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	遺族会活動の活動を支援する事業目的はほぼ達成できた。	4
効率性	コストの節減	主要事業参加者一人当たりのコストは前年度とほぼ同数である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりの事業が行われている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	会員の高齢化に伴い会員の減少が見込まれる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	会員継続の働きかけを行う。また、青年部への会員移行を推進する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020200		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	戦没者遺族等援護事業		予算事業名	戦没者遺族等援護事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦	担当者名	松本 千華
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県遺徳顕彰会会則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	兵庫県民(相生市民)					
	誰(何)を対象として	兵庫県民(相生市民)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	県内の戦没者及び自衛隊、警察、消防その他あらゆる分野で郷土社会に貢献のあった人々の御霊に対して慰霊と感謝の誠をささげ、永遠の平和と郷土の繁栄を祈念してその実現に寄					

2 事業の概要 Do

実施の概要		慰霊に関する諸行事、遺徳顕彰に関する事業、遺族援護事業を行う兵庫県遺徳顕彰会に対し負担金を支出、その活動を支援する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	負担金	円	38,000	38,000	38,000	38,000
	戦没者追悼式委託料	円	364,794	-	-	400,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.132	0.132	100	0.036	27	0.064	178	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,343,046	1,389,888	103	637,364	46	839,004	132	
	事業費	402,794	38,000	9	38,000	100	438,000	1,153	
	合計	1,745,840	1,427,888	82	675,364	47	1,277,004	189	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,745,840	1,427,888	82	675,364	47	1,277,004	189	
合計	1,745,840	1,427,888	82	675,364	47	1,277,004	189		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業数							
指標説明(式)		事業数(慰霊祭事業、広報事業、援護事業)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		戦没者追悼式(3年に1回、H28.31.34…)							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100	-	-	-	-	100	-	
	実績	86	-	-	-	-			

【効率性】

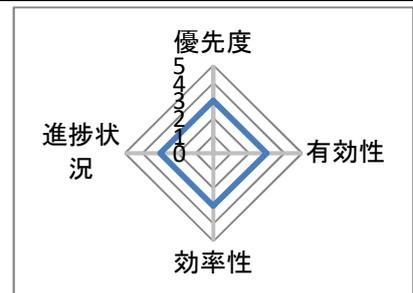
指標名1		事業費負担額							
指標説明(式)		相生市事業負担額							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	38,000	38,000	100.0	38,000	100.0	38,000	100.0	
	実績	38,000	38,000	100.0	38,000	100.0			
指標名2		戦没者追悼式参加者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(委託料)÷参加者(86人)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標	—	—	—	—	—	4,651	—	
	実績	4,242	—	—	—	—			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業計画に基づき、各種事業に関する広報を実施した。	3
効率性	負担割合の適正化	負担金額は人口割等で定められている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画は県下各市長等で構成される評議員会を経て決定されており、計画どおり実施されている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	戦没者遺族の高齢化が進んでいるため、各種事業の広報の方法等を再考する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	各種行事参加者の維持に努める。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020300		事業の種類	3		
年度	30	事務事業名	更生保護活動補助事業		予算事業名	更生保護活動補助事業 優先度		4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦		担当者名	番匠 芳敬
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		保護司法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	赤穂保護区保護司、姫路少年刑務所被收容者						
	誰(何)を対象として	赤穂保護区保護司、姫路少年刑務所被收容者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	犯罪、非行のない社会をつくる						

2 事業の概要 Do

実施の概要		更生保護活動等を行う赤穂保護区保護司会、姫路少年刑務所教誨事業後援会に対して補助金、負担金を支出、その活動を支援する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	保護司(相生)	人	12	13	13	13	
	教誨師	人	18	18	17	15	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.072	0.072	100	0.064	89	0.064	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	890,946	926,808	104	845,516	91	839,004	99	
	事業費	435,000	235,000	54	235,000	100	435,000	185	
	合計	1,325,946	1,161,808	88	1,080,516	93	1,274,004	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,325,946	1,161,808	88	1,080,516	93	1,274,004	118	
合計	1,325,946	1,161,808	88	1,080,516	93	1,274,004	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		保護司(相生)							
指標説明(式)		人員							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	11	14	127.3	14	100.0	11	78.6	
	実績	12	13	108.3	13	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

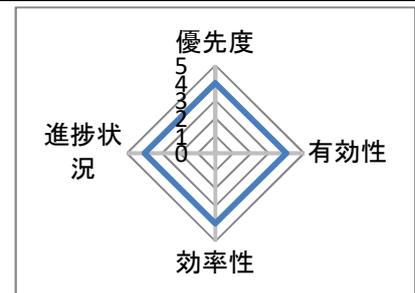
指標名1		保護司一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費÷人員							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10,909	8,500	77.9	8,500	100.0	10909	128.3	
	実績	10,000	9,230	92.3	9,230	100.0			
指標名2		社会を明るくする運動参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費(20万円)÷参加者(140人) 3年に1回(H28、R元、R04・・・)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,724	0	0.0	0	-	1369	-	
	実績	1,666	0	0.0	0	-			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	少年刑務所被収容者の社会復帰後援という事業目的は達成されている。	4
	期待する目標	犯罪、非行のない社会の実現に寄与するという事業目的は達成された。	
効率性	執行体制の効率性	赤穂保護区保護司会との緊密な連携により、現在の執行体制は最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	更生保護事業への補助について計画どおり実行できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	定年制の完全実施により、保護司に欠員が生じている。今後保護司の確保が問題となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	保護司の待遇の見直し(処遇面・精神面のサポートや経済的手当ての充実等)

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020400	事業の種類	1		
年度	30	事務事業名	民生児童委員運営事業	予算事業名	民生児童委員運営事業 優先度	3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦	担当者名	番匠 芳敬
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		民生委員法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民の相談及び支援者					
	誰(何)を対象として	一人暮らしの高齢者、母子家庭、児童、生活困窮者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民の生活状態を適切に把握し、被支援者に対し、適確な相談指導を行い、地域福祉の増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員・児童委員による高齢者、障害者、児童等のいる家庭への訪問・連絡活動など地域福祉の増進を図る。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	相談・支援件数	回	1,534	1,458	1,431	1,500	
	訪問回数	回	16,153	15,388	15,212	15,000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.176	0.136	77	0.200	147	0.184	92	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,674,586	1,420,760	85	1,856,540	131	1,781,604	96	
	事業費	8,061,860	7,692,300	95	7,692,300	100	8,291,000	108	
	合計	9,736,446	9,113,060	94	9,548,840	105	10,072,604	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,736,446	9,113,060	94	9,548,840	105	10,072,604	105	
合計	9,736,446	9,113,060	94	9,548,840	105	10,072,604	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一人当たり訪問回数							
指標説明(式)		訪問回数/委員数(66名)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
回	目標	240	230	95.8	230	100.0	230	100.0	
	実績	241	233	96.7	230	98.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

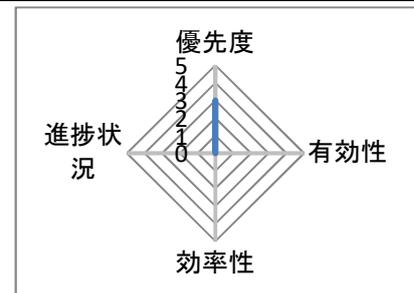
指標名1		民生児童委員一人当たりの活動費							
指標説明(式)		民生児童委員活動費/訪問回数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	470	490	104.3	490	100.0	503	102.7	
	実績	468	484	103.4	489	101.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標どおりの成果があがった。	
	市民サービス	地域における支援を必要とする方に効率的に福祉サービスが提供できた。	
効率性	執行体制の効率性	多様な相談内容・支援活動に適切に対応でき、行政等関係機関に繋ぐことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	民生児童委員の協力のもと、地域福祉活動の増進に貢献できた。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地域によっては、高齢化により民生委員・児童委員のなり手が不足している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	自治会・社会福祉協議会・地域包括支援センター・障害者基幹相談支援センターとの連携の強化

配点	25
総合評価	6

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020500	事業の種類	5
年度	30	事務事業名	社会福祉協議会活動事業	予算事業名	社会福祉協議会活動事業(社会福祉)
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦	担当者名
取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名			無	無	無
根拠法規及び関連法規	社会福祉法 相生市社会福祉法人の助成に関する条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民			
	誰(何)を対象として	相生市社会福祉協議会の活動とその運営			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における福祉活動の中心的役割を果たす相生市社会福祉協議会の活動を推進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	種々の社会福祉活動を展開し、地域福祉活動推進に大きな役割を果たす相生市社会福祉協議会の運営及び機能・体制維持のため補助を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	補助額	円	14,600,000	15,900,000	15,900,000	15,900,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.052	0.052	100	0.140	269	0.116	83	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	740,246	772,448	104	1,410,500	183	1,247,464	88	
	事業費	14,600,000	15,900,000	109	15,900,000	100	15,900,000	100	
	合計	15,340,246	16,672,448	109	17,310,500	104	17,147,464	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,340,246	16,672,448	109	17,310,500	104	17,147,464	99	
合計	15,340,246	16,672,448	109	17,310,500	104	17,147,464	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市社会福祉協議会主要事業							
指標説明(式)		主要事業(活動目標数)計画数・実績							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件	目標	14	14	100.0	14	100.0	14	100.0	
	実績	14	14	100.0	14	100.0			
指標名2		社会福祉協議会法人運営事業費に占める補助金の割合							
指標説明(式)		地域福祉推進事業事業費支出決算額/補助額(3事業合計)×100 27年度より社会福祉法人の会計基準が変更							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	65	65	100.0	65	100.0	65	100.0	
	実績	89	89	100.0	89	100.0			

【効率性】

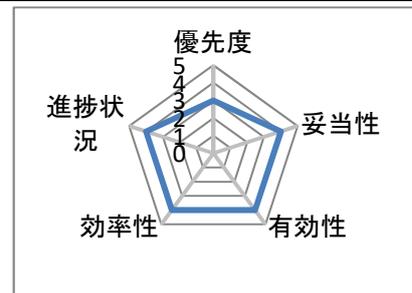
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会福祉協議会で行われる様々な福祉関連事業は計画通りに達成されている。	4
効率性	コストの節減	コスト節減に努めるべきではあるが、更なる地域福祉の増進には社会福祉協議会の役割は大きいため補助金額等は3年毎に1回見直し(H29見直し、次回H32)を行うこととしている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社会福祉協議会で行われる福祉関連事業は計画通り実行されており、地域における福祉活動推進に大きく貢献している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	地域福祉を推進するため、市民のニーズを把握する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズの把握のため、各種団体へのヒアリングやアンケート調査を実施。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020600		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	日本赤十字社事業		予算事業名	優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦	担当者名	濱崎 貴広
取組み事項		地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		日本赤十字社法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市民					
	誰(何)を対象として	相生市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が世界の平和と福祉の増進のため活動を行う日本赤十字社の趣旨を理解し、全世帯が社員となり、奉仕活動の活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日本赤十字活動資金募集(自治会を通じて募集)				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	活動資金(H28までは社資)額	円	4,774,310	4,641,094	4,667,300	4,600,000

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.116	0.076	66	0.108	142	0.088	81	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,222,486	957,680	78	1,172,612	122	1,027,524	88	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,222,486	957,680	78	1,172,612	122	1,027,524	88	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,222,486	957,680	78	1,172,612	122	1,027,524	88	
合計	1,222,486	957,680	78	1,172,612	122	1,027,524	88		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		日本赤十字社事業							
指標説明(式)		活動資金(H28までは社資)募集実績							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3,060,000	3,060,000	100.0	4,600,000	150.3	4,600,000	100.0	
	実績	4,774,310	4,641,094	97.2	4,667,300	100.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

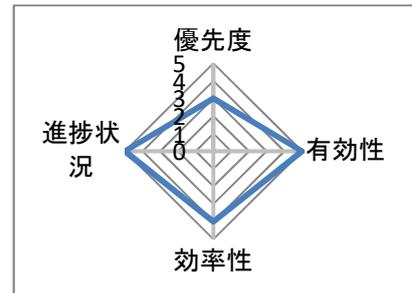
指標名1		県割り当て目標達成率							
指標説明(式)		活動資金実績額÷県目標額(4,641.094円)×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	156.0	151.7	97.2	100.5	66.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社資について、単位自治会の協力により目標を上回る額を募集することができた。	5
効率性	手段の最適性	自治会の協力により「理解と共感による納得」に基づく赤十字社員の募集が行えた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	社資募集について毎年、県の目標額を上回る成果をあげている。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	日赤活動、奉仕団活動の周知と災害時に備えた訓練実施。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時に備えた訓練の実施。西播磨赤十字奉仕団研修を主催し、近隣地域を含めた訓練も行う。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201020700		事業の種類	1	
年度	30	事務事業名	地域福祉計画策定事業		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)	地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦	担当者名	番匠 芳敬	
取組み事項	地域福祉の体制づくりと各団体による活動を支援する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名	地域福祉計画策定事業						
根拠法規及び関連法規	社会福祉法第107条						
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民					
	誰(何)を対象として	地域住民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小地域福祉活動(隣近所による見守り活動等)の活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	地域福祉計画の計画期間が満了となるため、第2次地域福祉計画(平成30年度～34年度)を策定する。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	市民アンケート調査	件	-	2,000	-	-
	地域福祉計画策定委員会	回	-	5	-	-

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.028	-	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員		0.080	-	0.100	125	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		988,552	-	1,113,140	113	1,121,784	101	
	事業費			-		-		-	
	合計		988,552	-	1,113,140	113	1,121,784	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		988,552	-	1,113,140	113	1,121,784	101	
合計		988,552	-	1,113,140	113	1,121,784	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	市民アンケート調査結果								
指標説明(式)	回収件数/発送連数								
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	100.0	-	-	-	-	-	
	実績	0	48.7	-	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

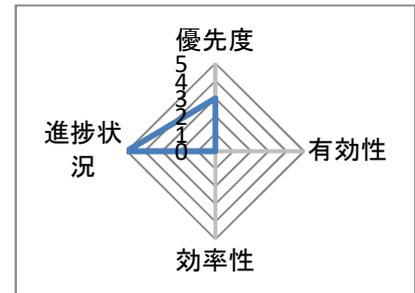
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域福祉計画推進委員会を設置し、計画の推進状況の確認、評価等を行う。また、推進管理の点検にあたっては、PDCAサイクルを取り入れ、継続的な改善に取り組む。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	25
総合評価	11

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201030100		事業の種類	4	
年度	30	事務事業名	住みよい福祉のまちづくり事業		予算事業名		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦	担当者名	横家 秀樹
取組み事項		ユニバーサル社会づくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		バリアフリー新法、ひょうごユニバーサル総合指針、兵庫県福祉のまちづくり条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	主に障害者・高齢者					
	誰(何)を対象として	主に障害者・高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害のある人もない人も誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりを目指す					

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害のある人の活動の場や行動範囲を広げ、自由な社会参加を促進するため、障害の理解を深めるとともに、人々の意識に関わる障壁などを取り除く。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	福祉のまちづくり条例申請件数	件	0	0	0	0	
	福祉のまちづくり条例適合証交付件数	件	0	0	0	0	
	ゆずりあい駐車場看板新設数	箇所	1	0	0	0	
	ゆずりあい駐車場利用証交付件数	件	57	82	72	70	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.100	125	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	951,226	988,552	104	1,113,140	113	1,121,784	101	
	事業費			-		-		-	
	合計	951,226	988,552	104	1,113,140	113	1,121,784	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	951,226	988,552	104	1,113,140	113	1,121,784	101	
合計	951,226	988,552	104	1,113,140	113	1,121,784	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		適合証交付率							
指標説明(式)		適合証交付件数÷まちづくり条例申請件数×100							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	100	-	100	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

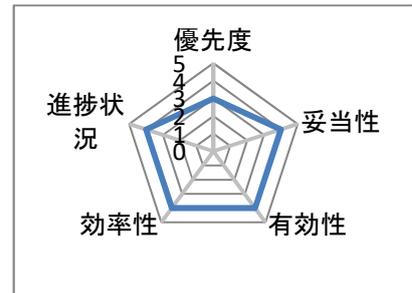
指標名1		利用証交付件数1件当たりの費用							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷交付件数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13589	16050	118.1	18507	115.3	16025	86.6	
	実績	16688	12056	72.2	15460	128.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	兵庫県が実施する兵庫ゆずりあい駐車場制度の申請事務等を効果的に行うことができ、申請者へのサービス向上が図られた。	4
	市民サービス	障害者等が障害者用駐車場枠への駐車がしやすくなり、利便性の向上が図れ、外出機会の向上につながった。	
効率性	コストの節減	利用証等は県が作成しているので事業経費は発生しない。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	適正に事務が執行されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害者等の外出機会促進を図るために制度の周知に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	窓口及び広報紙等、制度の周知方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201030300		事業の種類	5	
年度	30	事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業	予算事業名	地域自殺対策緊急強化事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部子育て元気課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	清水 直子	担当者名	藤本 理恵
取組み事項		ユニバーサル社会づくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		自殺対策基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康問題や多重債務からの経済的問題など、あらゆる要因で自殺を考えている人					
	誰(何)を対象として	市民の自殺に対する意識					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりが自殺に対する意識を高め、健康面やうつ病に対する理解を深めることにより、気づきや傾聴の大切さを知り、自殺を未然に防ぐ。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		健康大学講座の開催をはじめ、啓発用のポスターや横断幕の掲示による一般市民への啓発及び福祉施設職員などを対象に、自殺予防対応ができる人材の養成をするための研修を行う。					
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画	
	こころの健康づくり講演会	人	95	74	104	150	
	街頭キャンペーン	人	600	600	600	600	
	相生市自殺予防対策研修会	人	36	14	57	50	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.072	0.272	378	0.260	96	0.376	145	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	890,946	2,470,408	277	2,302,580	93	3,289,764	143	
	事業費	106,940	175,830	164	122,920	70	195,000	159	
	合計	997,886	2,646,238	265	2,425,500	92	3,484,764	144	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	105,000	85,000	81	32,800	39	94,500	288	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	892,886	2,561,238	287	2,392,700	93	3,390,264	142	
合計	997,886	2,646,238	265	2,425,500	92	3,484,764	144		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自殺死亡者数							
指標説明(式)		自殺死亡者数(前年度比10%減を目標)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	5	7	140.0	5	71.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

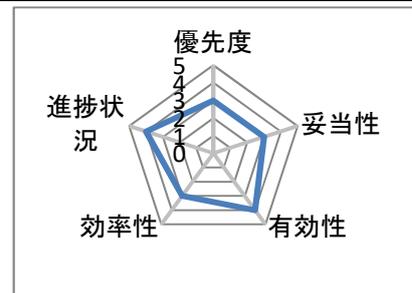
指標名1		自殺対策啓発講演会							
指標説明(式)		自殺対策啓発講演会受講者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	150	150	100.0	100	66.7	150	150.0	
	実績	95	74	77.9	104	140.5			
指標名2		自殺予防対策(ゲートキーパー)研修							
指標説明(式)		自殺予防対策(ゲートキーパー)研修受講者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	60	50	83.3	50	100.0	50	100.0	
	実績	36	14	38.9	57	407.1			

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	自殺者数は前年度比で増加となった。	4
	市民サービス	自殺対策ゲートキーパー養成やメンタルヘルスを専門とする講師を招き講演会を開催し、ゲートキーパーの役割など、市民にとって重要な自殺防止に関する情報を提供することができた。	
効率性	負担割合の適正化	10/10から補助率が1/2に減少しているため、事業に対する負担が増えている。今後も補助率が下がる場合は事業の見直しが必要。	3
	執行体制の効率性	自殺対策の必要性や重要性を、もっと広く市民に伝える必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	市単独で見るとH29年度より自殺者数は減っているが、自殺率(対人口)をみると、全国よりも高い値となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	研修会や普及啓発活動を継続していく

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040100		事業の種類	3	
年度	30	事務事業名	総合福祉会館管理運営事業		予算事業名	総合福祉会館管理運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	片山 和彦	担当者名	濱崎 貴広
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		総合福祉会館改修事業		総合福祉会館改修			
根拠法規及び関連法規		相生市立総合福祉会館の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身障害者の福祉、市民の健康づくり、勤労者の福祉及び産業振興等地域福祉活動が増進される					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身障害者の福祉、市民の健康づくり、勤労者の福祉及び産業振興等地域福祉活動の拠点となる総合福祉会館を管理運営する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	利用人数	人	78,195	70,768	72,492	70,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.084	131	0.084	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	830,666	865,064	104	994,196	115	996,104	100	
	事業費	21,905,438	24,726,604	113	19,874,817	80	22,385,000	113	
	合計	22,736,104	25,591,668	113	20,869,013	82	23,381,104	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,736,104	25,591,668	113	20,869,013	82	23,381,104	112	
合計	22,736,104	25,591,668	113	20,869,013	82	23,381,104	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	70,000	70,000	100.0	70,000	100.0	70,000	100.0	
	実績	78,195	70,768	90.5	72,492	102.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

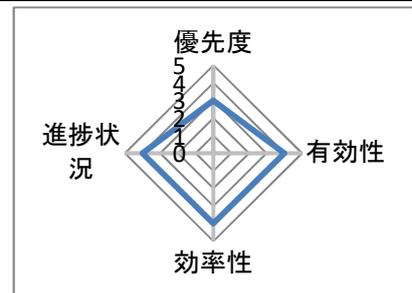
指標名1		人数当りのコスト							
指標説明(式)		総経費／利用人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	300	300	100.0	320	106.7	320	100.0	
	実績	280	349	124.6	297	85.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	文化協会に所属する団体へのなぎさホール利用を推奨した結果、利用人数は減少したものの、地域福祉活動拠点として一定数の利用者は見込める	4
	市民サービス	市民、福祉団体の福祉活動拠点として十分機能している	
効率性	コストの節減	空調設備の適正な使用を推奨し、高熱費等のランニングコスト削減を継続する	4
	執行体制の効率性	問題なし	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域福祉活動拠点としての機能は十分果たしている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	地域福祉活動拠点としての機能を維持できるよう計画的な維持修繕を行う(H29年度においては、トイレ様式化を実施)。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	地域福祉活動拠点としての機能を維持できるよう適切な維持修繕を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040200		事業の種類	2	
年度	30	事務事業名	老人いこいの家等管理事業		予算事業名	老人いこいの家等管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市老人いこいの家の設置及び管理に関する条例、相生市立古池自治会館の設置及び管理に関する条例、相生市立那波野地域福祉活動センターの設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者や障害者等					
	誰(何)を対象として	在宅高齢者や障害者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	教養の向上やレクリエーション等の場を与え、高齢者等の心身の健康の増進を図り福祉の増進に寄与する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		教養の向上やレクリエーション等の場の供給 (H27、H28については、矢野あいあいセンター利用分を含む)				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	利用人数	人	10008	6622	6025	6500

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.010	0.068	680	0.080	118	0.048	60	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	423,776	895,936	211	964,460	108	713,324	74	
	事業費	2,467,319	1,715,299	70	1,513,570	88	1,868,000	123	
	合計	2,891,095	2,611,235	90	2,478,030	95	2,581,324	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,891,095	2,611,235	90	2,478,030	95	2,581,324	104	
合計	2,891,095	2,611,235	90	2,478,030	95	2,581,324	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数(H27、H28については、矢野あいあいセンター利用分を含む)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	8900	6500	73.0	6500	100.0	6500	100.0	
	実績	10008	6622	66.2	6025	91.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

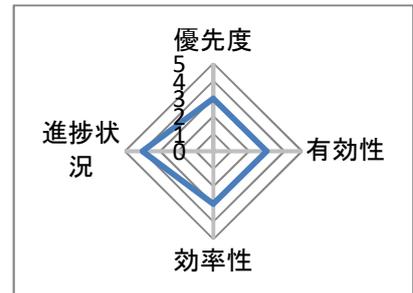
指標名1		利用人数あたりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数(H27、H28については、矢野あいあいセンター利用分を含む)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	372	274	73.7	415	151.5	397	95.7	
	実績	289	394	136.3	411	104.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者のレクリエーション等生きがいづくりの場として、また地域住民のきずなを深める場として有効であるが、各施設の利用人数は減少している。	3
	組織運営・適正管理	那波野地域福祉活動センターと古池自治会館は、平成20年度より指定管理者による管理に移行。老人いこいの家はシルバー人材センターに清掃委託のみ	
効率性	執行体制の効率性	那波野地域福祉活動センター及び古池自治会館については、H20より指定管理者制度を導入し経費節減を図りつつ有効利用の促進に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	施設の利用者が固定化されている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	利用者の増加をめざし、周知を図る。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040300		事業の種類	2	
年度	30	事務事業名	老人福祉センター管理事業		予算事業名	老人福祉センター管理事業 優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室		
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	三浦 貴史	担当者名	富田 智美
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		老人福祉センター解体撤去工事					
根拠法規及び関連法規		相生市立老人福祉センター条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	在宅高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康の増進、教育の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		機能を生きがい交流センターに移管し、現在休止届を出している				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画

3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.010	0.054	540	0.048	89	0.020	42	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	423,776	787,884	186	726,572	92	493,384	68	
	事業費	157,581	154,192	98	149,108	97	150,000	101	
	合計	581,357	942,076	162	875,680	93	643,384	73	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	581,357	942,076	162	875,680	93	643,384	73	
合計	581,357	942,076	162	875,680	93	643,384	73		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

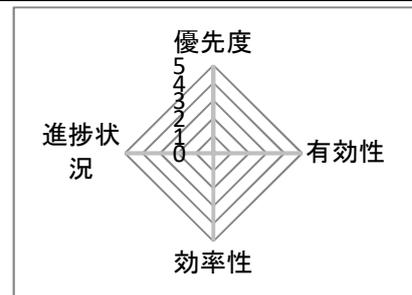
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	現在休止中	
	組織運営・適正管理	現在休止中	
効率性	コストの節減	現在休止中	
	執行体制の効率性	現在休止中	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現在休止中	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	施設の解体に向けた検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	施設の解体に向け、検討していく。

配点	25
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020201040400	事業の種類	4
年度	30	事務事業名	生きがい交流センター管理運営事業	予算事業名	生きがい交流センター管理運営事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部長寿福祉室
施策名(中)		地域福祉活動を支援する		担当課長	三浦 貴史
取組み事項		地域福祉活動の拠点の利用促進を図る		実施計画への記載	無
実施計画事業名		生きがい交流センター空調工事		担当者名	杉本 裕美
根拠法規及び関連法規		相生市生きがい交流センターの設置及び管理に関する条例 相生市高齢者生きがいと健康づくり推進事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者			
	誰(何)を対象として	生きがいと健康づくり			
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の文化的活動のための場の提供と高齢者の教養と健康づくりの為のセミナー開催。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者の教養の向上と健康づくりのためセミナー及び市民の文化活動の場を提供する。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	一般利用者数	人	21220	19493	19594	20000
	生きがいセミナー出席者	人	2064	1878	2031	2100

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104	
	参事以下職員	0.112	0.120	107	0.156	130	0.124	79	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,192,346	1,297,272	109	1,529,444	118	1,310,304	86	
	事業費	8,984,182	9,863,944	110	9,776,661	99	10,057,000	103	
	合計	10,176,528	11,161,216	110	11,306,105	101	11,367,304	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,176,528	11,161,216	110	11,306,105	101	11,367,304	101	
合計	10,176,528	11,161,216	110	11,306,105	101	11,367,304	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一般利用者数(セミナー参加者除く)							
指標説明(式)		一般利用者数(セミナー参加者除く)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	21000	22000	104.8	18550	84.3	20000	107.8	
	実績	21220	19493	91.9	19594	100.5			
指標名2		生きがいセミナー出席者数							
指標説明(式)		生きがいセミナー出席者数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2025	2065	102.0	2850	138.0	2100	73.7	
	実績	2064	1878	91.0	2031	108.1			

【効率性】

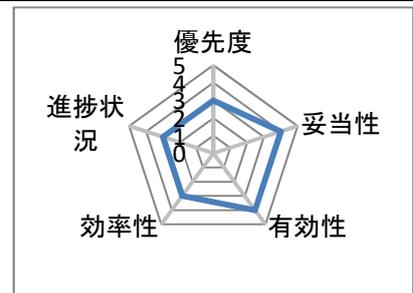
指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数(一般利用者+生きがいセミナー出席者数)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
円	目標	408	499	122.3	456	91.4	455	99.8	
	実績	385	461	119.7	452	98.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	利用者へのアンケート調査等の実施により、利用者ニーズにあった講座を開催しており、教養の向上と健康の増進、また閉じこもりの防止にも貢献している。	4
効率性	コストの節減	指定管理者制度の導入により、低コストで高サービスの運営に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	利用者総数、セミナー参加者は増加しており、今後も高齢者へのニーズ調査、ニーズにあった講座の開講準備を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	生きがい交流センターと連携を図り、具体的なニーズ調査、計画的な講座開講に向けての準備を行う。

配点	32.5
総合評価	22